

関係団体へのヒアリング等の実施結果について

1 目的

現計画の進捗及び課題、次期計画策定に向けた各団体等の取組、サービス需給見込等を把握する目的で、ニーズ調査（アンケート）を補完するものとして実施。

2 実施方法等

区分	対象	実施方法
事業所 (教育・保育供給者)	保育所児童の保護者 幼稚園児童の保護者	○ヒアリング ※保育所は直営・民営 各1ヶ所
	事業者（雇用者側） ・町内幼稚園 ・保育所（民営） ・事業所内保育所	○アンケート調査 ・課題把握、施策提案、新制度に関する考え方等の把握
	労働者 ・町内幼稚園 ・保育所（民営） ・放課後児童クラブ	○ヒアリング ※放課後児童クラブ労働者のみアンケート回答
関係団体	サービス利用者 ・子育てサークル ・すくすくプレールーム	○ヒアリング ・課題・ニーズの把握 ・町支援策への意見等

3 ヒアリングの実施日程

日程	時間	対象	同席委員	
平成 26 年 2 月 4 日 (火)	10:40～	すくすくプレールーム	利用者	—
	13:00～	精華聖マリア幼稚園	保護者	—
平成 26 年 2 月 5 日 (水)	11:00～	光が丘幼稚園	保護者	飯田委員 田中委員
	13:30～	光が丘幼稚園	労働者	—
	15:00～	精華聖マリア幼稚園	労働者	—
	16:30～	ひかりだい保育所	保護者・労働者	—
	18:00～	こまだ保育所	保護者	—
平成 26 年 2 月 12 日 (水)	15:00～	星の光幼稚園	保護者・労働者	飯田委員
平成 26 年 2 月 13 日 (木)	11:30～	放課後児童クラブ	労働者	—
平成 26 年 3 月 12 日 (水)	11:00～	子育てサークル ※今後実施	利用者	藤崎委員 吉井委員

4 結果概要

■保護者ヒアリング

保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に、もっと普段から遊べる場所を作ってほしい。 ・町内でも地域ごとに特色がある。保育所利用が多い地域、幼稚園利用が多い地域など。 ・知り合いがいないと外に出る勇気がない。1人でも知り合いがいると負担感が全然違うので、子育て中の人が少ない地域には、行政が手をかけていくべき。
幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと気軽に子どもを預ける場所が欲しい。 ・仕事をしながら幼稚園に通わせる家庭をフォローする、敷居の低い保育サービスがほしい。 ・子育てで最も困ることは、①自分や子どもが病気になった時 ②長期休暇中 にどうするか。 ・働いている人は、子どもに教育を受けさせたくても、保育所しか選択肢がない。子どもが大きくなるまで家にいたいなら、幼稚園しか選択肢がない。幼稚園と保育所の両機能を持つ施設があれば理想的だと思う。 ・情報提供や発達に問題を持つ子へのフォローなど、子どもが3歳以上になると、急に切れてしまう印象がある。

■事業者（雇用者側）アンケート

項目	① 町内私立幼稚園	② 民営保育所
新制度への不安	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の理解が不十分 ・公定価格等の金額や内容 ・給付費請求などの事務手続き変更の対応 	・特になし
新制度移行の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ決まっていない（未定部分が多く、判断を下すには早い） ・現行制度のままの予定 	（公設民営のため移行）
新制度への移行を検討する際の大きな判断要素	<ul style="list-style-type: none"> ・給付費（公定価格）などの経済面の条件 ・施設や運営に関する基準 ・国・府・町の補助制度 	
幼保連携・幼保一体化について	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの最善の利益となるような制度改革になればよいと思う。 ・地域の核家族家庭の支援や虐待等防止のためにも、預かり保育の実施は必要。保育時間の延長に伴う職員の労働時間や職員確保の問題が出てくる。 ・幼児期は人格形成の基礎を培う重要な時期であり、親子が関わる時間を大切にしたい。幼稚園でも保育を行うが、「育児」ではなく「教育」の場として、しっかりと位置づけたい。 	
今後新たに取り組みたい・力を入れたい事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の充実 ・未入園児に関する子育て支援 	・病後児保育事業、休日保育事業等（必要に応じ）
精華町への意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・町の子ども・子育て支援施策について、幼稚園にも具体的な情報がほしい。 ・乳幼児健診等で、早い時期から発達障害の有無や生活改善の指導をしてきていることがありがたい。 ・特別な支援が必要な子どもの受入れについて、講師確保や人件費など、私学幼稚園への負担が大きい。 	・特になし

項目	③事業所内保育所	
	学研都市病院	オムロン京阪奈保育所
新制度への不安	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の理解が不十分 ・公定価格等の金額や内容 ・給付費請求などの事務手続き変更の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
新制度移行の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・移行するつもりはない（※） 	<ul style="list-style-type: none"> ・移行するつもりはない（※）
今後新たに取り組みたい・力を入れたい事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の就労支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部、外部企業に保育所開放を検討中
事業所運営上困っていること、改善したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・女性就労支援に関する国の支援不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の研修カリキュラムの充実 ・保育カリキュラムの充実（リズム導入等）
精華町への意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・一般保育事業は充足しているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし

※「事業所内保育」は新制度において「地域型保育給付」を受ける対象事業として位置づけられています。

この給付を受けるためには、

「事業所の従業員の子どもに加えて、地域の保育を必要とする子どもの保育を実施すること」

が要件となっています。（地域の子どもの受入れ枠（人数設定）等詳細については未定）

◇なお、地域の子どもの受入れ枠を設定しない事業所内保育施設は、新制度における「認可」対象とはなりません。引き続き施設としての継続は可能であり、雇用保険からの助成対象にはなりません。

■労働者ヒアリング

幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・近年「長時間子どもを預かってもらえる」ことが求められる等、子育て支援ではなく親支援になってきているのではないかと感じている。子どもにとって良い環境を作るためには？ ・入園児内訳を見ると、精華町の子どもが減り、木津川市や奈良市の子どもが増加。 ・預かり保育の要望が多い。実施予定はないが、夏休み中の預かりを希望する声もある。 ・（認定こども園について）幼稚園も保育園も個性があり、それぞれの良さが薄れてしまっているのではないかと感じている。特別な支援が必要な子どもに対し、細やかな支援ができるのか。 ・特別な支援が必要な子どもについて、幼稚園での様子等を町役場と幼稚園で共有する場を設けることができれば、子どもにとって、より細やかな支援ができると思う。 ・特別な支援が必要な子どもをフォローしてくれる施設や、専門家の人材派遣制度等を整備してもらいたい。
民営保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士のレベルアップにつながる研修は、役場にしかできないこと。保育士同士の交流よりも、保育にすぐ生かせるような具体的な情報を、保育士におろしてほしい。 ・小学生を対象とした、親子が集まれるような事業を企画してほしい。ある程度大きな子どもを対象にした事業であれば、父親も参加しやすく、育児参加も進むのでは。
放課後児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の保護者からは、放課後児童クラブで子ども同士の付き合いを体験させるよりも、まずは自分の子どもがクラブを気に入って、通ってくれることを望んでいるように感じる。 ・早朝や延長利用の希望が多い。 ・小学生に限らず、子どもたちが安全に、強制されずに過ごせる「居場所」を町内に作ってほしい。

■関係団体ヒアリング（在宅育児）

すくすく プレールーム 利用者	<ul style="list-style-type: none">・午後も開放してほしい。毎日開いていて、いつでも行けるのが理想。・普段子どもを遊びに連れて行く場所： つどいの広場“さんりんしゃ”、おもちゃの広場“さくらんぼ”、保育所の園庭開放、すくすくプレールーム、近くの公園など。・情報の入手先： 定期健診の際の保健師からの情報、子育て情報誌『S u k u S u k u』、町HP、ママ友との情報共有。子育て支援センター内の掲示板。・現状でもかなり満足度は高いが、何か事業をする際、ある程度強制参加にすれば、参加者同士のつながりができて良いと思う。・地域の子育て世代が、集会所等を利用して集まれる事業をしてほしい。・1歳半～2歳の時期の検診や相談を、もう少し手厚くしてほしい。・大きな公園を整備してほしい。・急な用事の際、半日程度気軽に預けられる場所がほしい。
-----------------------	--

※平成26年3月12日、子育てサークルへのヒアリングを実施予定